

講義、実習の概要

講座名	放射線防護コース
題目	放射線管理実習
	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習
所要時間	5 コマ (5 時間 50 分)
実施場所	研修講義棟、RI 製造棟研修施設
	<input checked="" type="checkbox"/> 講義室 <input type="checkbox"/> 非管理区域 <input checked="" type="checkbox"/> 第 1 種管理区域 <input type="checkbox"/> 第 2 種管理区域
本講義のねらい	放射性物質の安全取扱上で必要な放射線管理上における放射線管理試料の捕集方法、測定技術及び評価方法について実習をとおして習得する。
概要	放射性物質の取扱作業においては、常に潜在的被ばくの危険性が伴う。このため、法令により放射線量の測定や放射性物質による汚染状況の測定が義務付けられている。これらの放射線管理上の業務としての空气中放射能濃度の測定、表面汚染密度の測定、放射性核種の同定及び定量などの測定評価方法について、実習をとおして習得する。
キーワード	放射性物質、放射性核種、取扱作業、放射線被ばく、放射線障害防止法、GM 計数装置、空气中放射能濃度、大容量エアサンプラ、HE-40T、放射線測定器、減衰補正、表面汚染密度、サーベイ法、スミア法、検出限界、測定評価法、科学技術庁告示別表、空气中濃度限度
使用する RI、危険物、重量物等	密封 RI (^{90}Sr ; 4kBq)